

他にデータ処理センターで作られる資料としては雲の動きから求めた風、可視像ブライトネスや温度の平均図、海氷・積雪域図などであろうが、それらの詳細が固まっ

てくるのは2年ぐらい先であろう。

(気象庁気象衛星課 渡辺和夫)

気象研究ノート第117号の発刊のお知らせと予約募集

気象研究ノート第117号「モンスーンアジアにおける水の気候」は下記の内容をもって発刊されました。定期購読者以外の方で購読希望の方は本号貼付のハガキで学会事務局へ2月下旬までに申し込み下さい。

内容目次

第I部 序説

1. モンスーンアジアにおける水の気候学の諸問題……………吉野正敏

第II部 大気大循環と雨

2. モンスーン期における水蒸気輸送と雲分布……………朝倉 正
3. モンスーン・アジアにおける月降水量分布型と大循環……………根山芳晴
4. 100 mb 南アジア高気圧とモンスーンアジアの夏の降水……………田宮兵衛
5. 熱帯偏東風ジェットの経年変化と南アジアの降水……………小林 望
6. インド—赤道太平洋領域の降水量と熱帯循環の年々変動……………土屋 敏

第III部 雨季と乾季

7. モンスーンアジアの雨季とITC……………吉村 稔
8. モンスーンアジアにおける降水量変動率の地域特性と季節変化……………水越允治
9. 東アジアの自然季節……………河村 武

10. モンスーンアジアにおける蒸発散量の気候学的推定について……………小林 守

第IV部 雨・雪・風の気候変動

11. 極東季節風の長期変動と日本の夏季降水量の関係……………山本武夫
12. 日本における越年性積雪の水資源上の問題と気候変動の指標としての役割……………土屋 敏
13. 砂丘地形からみた後期洪積世以降の気候変動……………漆原和子・早船(阿由葉)元・角田清美
14. 火山灰の降灰分布からみた第四紀の日本付近の風……………吉野正敏・田淵 洋

第V部 災害気候学的にみた日本の集中豪雨

15. 災害要因としての日本の雨……………倉嶋 厚
 16. 昭和47年7月豪雨の特徴と過去の集中豪雨との比較について……………越智 疆
 17. 東京地方の降雨強度(豪雨とのかかわりあい)……………浅野 芳
 18. 豪雨災害の季節特性と災害の変遷について……………谷川良次
 19. 日本の豪雨の分布について……………清水教高
- 発行は1973:12月
価格は学会員で1,150円